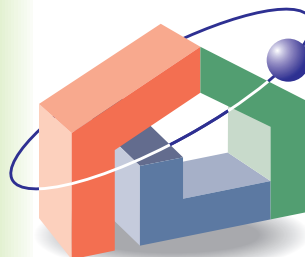
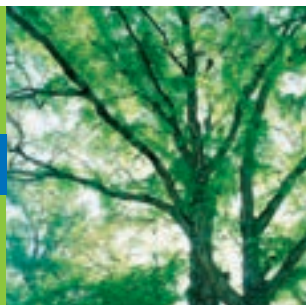


第54期
報告書

平成23年11月21日

▼
平成24年11月20日



株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社第54期（平成23年11月21日から平成24年11月20日まで）における営業と決算の概況につきましてご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年 2 月

代表取締役社長 北 村 良 一

1 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などを背景として、緩やかながら回復基調にあるものの、新興国経済の成長鈍化や欧州の債務危機、円高の長期化などにより不透明な状況で推移いたしました。また、個人消費につきましては、雇用・所得環境の先行き不安感から厳しい状況で推移いたしました。

当住宅関連業界におきましては、住宅ローン金利の低下や各種住宅取得支援策などの押上げ効果により、新設住宅着工戸数は持ち直しの動きにて推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは新規取引先の開拓、重点商品（オリジナル商品、施工付販売、住宅設備機器）や太陽光発電システムを中心としたエコ関連商

材の販売に努めました。また、平成24年5月にはベトナム社会主義共和国における市場調査を目的としてホーチミン駐在員事務所を開設、さらに、6月には東北地域の復興需要への対応として仙台出張所を開設するなど、経営資源の活用と経営効率の向上を最重点課題として取り組み、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は428億58百万円（前期比4.7%増）、営業利益は6億9百万円（前期比10.7%増）、経常利益は7億21百万円（前期比12.7%増）、当期純利益は3億67百万円（前期比16.3%増）となりました。

2 対処すべき課題

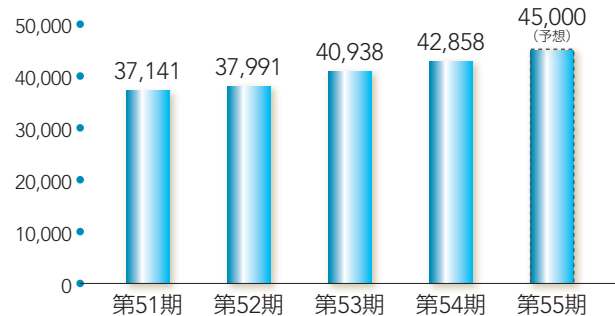
今後の見通しにつきましては、各種経済対策や復興需要の顕在化により、国内景気は弱含みながらも堅調に推移するものと見込まれますが、欧州債務問題の長期化や新興国経済の成長鈍化など懸念材料も多く、不透明な状況で推移するものと予想されます。

当住宅関連業界におきましては、長期固定金利住宅ローン「フラット35Sエコ」や「復興支援・住宅エコポイント」などの各種住宅取得支援策の一部終了や雇用・所得環境に先行き不透明感が残っているものの、平成26年4月に予定されている消費税率引上げによる駆け込み需要の発生が予想され、新設住宅着工戸数は低水準ながら底堅く推移するものと予想されます。

当社グループといたしましては、このような状況を十分認識し、引き続き新規取引先の開拓を行うとともに、重点商品（オリジナル商品、施工付販売、住宅設備機器）やエコ関連商材の販売強化に取り組んでまいります。重点商品につきましては、環境、省エネをテーマとした住宅設備機器の拡販に取り組むとともに、施工体制の強化にも努めてまいります。今後も経営資源の活用と経営効率の向上を最重点課題として取組み、業績の向上を目指す所存でございます。

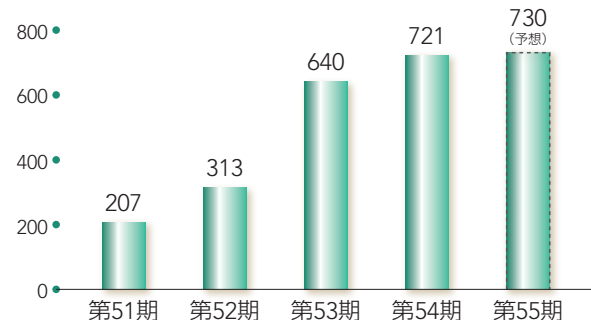
売上高

(単位：百万円)



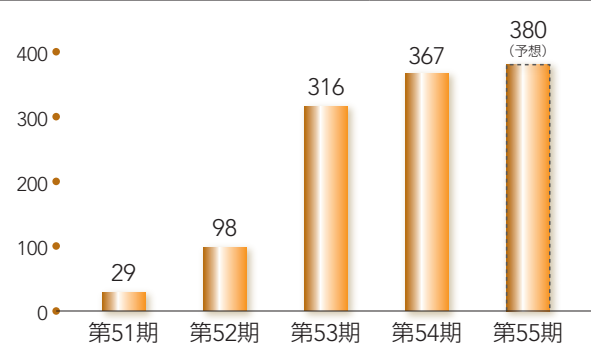
経常利益

(単位：百万円)



当期純利益

(単位：百万円)



幅広い商品群で住まい創りを総合的にプロデュース

—— 国内外の住宅資材でこだわりのある住まい創りをサポート ——

今や住まい創りには、生活様式や感性など、「こだわり」への対応が求められています。

私たち北恵は、内外装資材から各種設備機器、合板、構造材、銘木まで幅広く商品を取り揃え、また、国内はもとより海外まで独自のネットワークを広げ、機能性や快適性、省エネ対応や地球環境への配慮など、どのようなご要望にも柔軟に対応できるよう体制を整えております。



■ 木質建材

ユニットドア／クローゼット
フロア／収納ユニット
階段セット

■ 非木質建材

石膏ボード／断熱材／屋根材
不燃ボード／サイディング

■ 合板

ラワン合板／針葉樹合板

■ 木材銘木製品

木材構造材／木材造作材
フローリング／銘木工芸品

■ 住宅設備機器

システムキッチン
ユニットバス／洗面ユニット
トイレ／空調機器／燃焼機器
太陽光発電パネル

■ 施工付販売

外壁工事／住設工事
屋根工事／構造躯体工事
内装工事／サッシ工事
太陽光発電システム

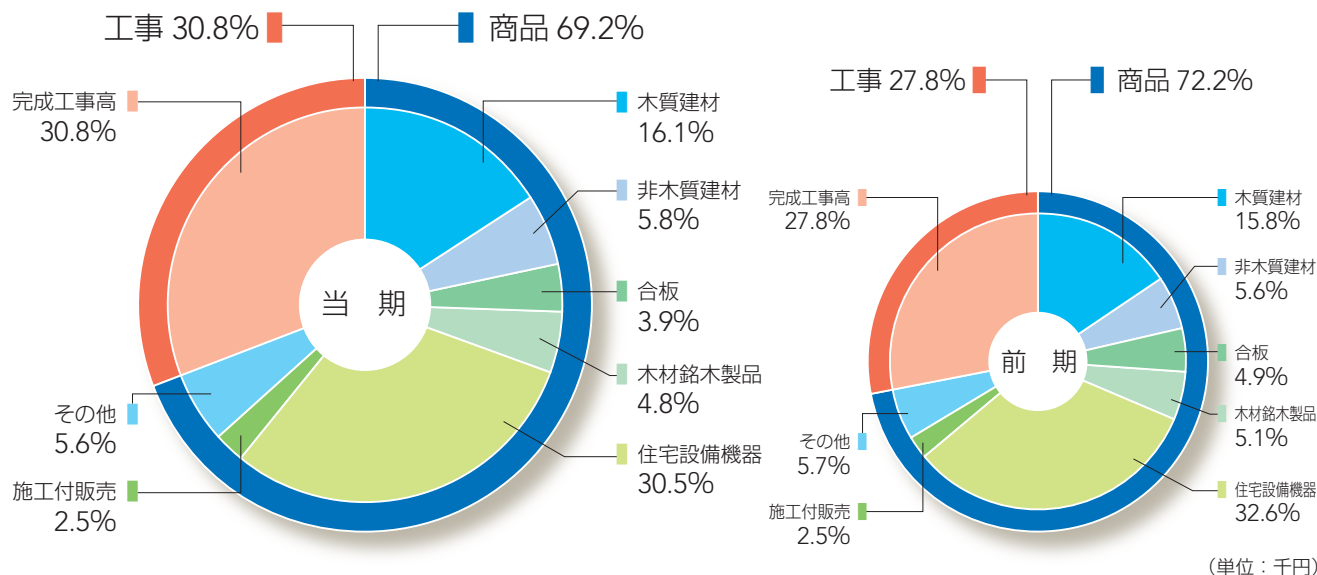
■ オリジナル商品

フローリング／無垢ドア
換気システム／システム収納
木製連続手摺システム

■ その他

化成品／住宅保存剤
建築金物／建築道具
エクステリア

品目別売上高の状況



品 目		当期 (第54期) 平成23年11月21日から 平成24年11月20日まで		前期 (第53期) 平成22年11月21日から 平成23年11月20日まで	
		金 額	構成比	金 額	構成比
商品	木 質 建 材	6,921,334	16.1%	6,463,116	15.8%
	非 木 質 建 材	2,496,208	5.8	2,292,861	5.6
	合 板	1,663,577	3.9	1,988,056	4.9
	木 材 銘 木 製 品	2,075,975	4.8	2,082,748	5.1
	住 宅 設 備 機 器	13,081,655	30.5	13,327,630	32.6
	施 工 付 販 売	1,062,079	2.5	1,031,316	2.5
	そ の 他	2,340,035	5.6	2,368,995	5.7
小 計		29,640,867	69.2	29,554,725	72.2
工事	完 成 工 事 高	13,217,880	30.8	11,383,828	27.8
	小 計	13,217,880	30.8	11,383,828	27.8
合 計		42,858,747	100.0	40,938,554	100.0

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 上記商品販売金額にはオリジナル商品販売実績2,277,448千円（前期販売実績2,611,565千円）が含まれております。

自然が奏でる心地よさ

—— リラクシングウッドシリーズ ——

 *relaxsing wood*

<http://www.relaxsingwood.com/>



それは、自然の創った
けがれなき繊巧美。

「北恵ならでは」の独自性を象徴する商品群が無垢の木製品。なかでも海外から調達した「無垢フローリング」を中心とするプライベートブランド「リラクシングウッド」は、健康住宅への関心が高まるなか、マーケットリーダーとしての高い評価をいただいております。「ホッとする時間、ホッとする空間」——そんな気持ちに、私たち北恵は「リラクシングウッド」でお応えします。

「環境」「ぬくもり」「素材」の3つがテーマ

—— スプロートユニバーサルシリーズ ——



<http://www.sprout-univ.com/>



環境

環境をテーマとしたシリーズ。
24時間換気システムや乾燥暖房機、
輻射断熱商品など、
住空間や自然に優しい環境を
取り入れます。



ぬくもり

ぬくもりをテーマとしたシリーズ。
木製連続手すりや高齢者向け
和室手すり、飾り収納など、
住まう人に優しさを
お届けします。



素材

素材をテーマとしたシリーズ。
洗面ボールや石材、自由設計の
階段など、素材・質感に
こだわった商品を
ご提案します。

広範な営業活動を展開するなかでいただく様々なご要望やご提案。私たち北恵は、そうしたニーズをよりダイレクトに反映させるとともに、当社独自の自由な発想で企画開発した製品で新たなマーケットを開拓したいとの思いから、他社に先駆け、1978年、プライベートブランド「スプロート」の販売を開始しました。現在は、「スプロートユニバーサル」として、「人にやさしい住まい創り」をコンセプトに、「環境」「ぬくもり」「素材」に象徴される商品開発への新たな挑戦を続けております。

連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

（単位：千円）

科目	前期（第53期） 平成23年11月20日現在	当期（第54期） 平成24年11月20日現在
（資産の部）		
流動資産	14,599,948	15,295,946
固定資産	3,700,960	3,660,116
有形固定資産	1,728,401	1,734,665
無形固定資産	77,123	84,622
投資その他の資産	1,895,435	1,840,828
資産合計	18,300,908	18,956,063
（負債の部）		
流動負債	8,580,058	8,956,957
固定負債	1,094,051	1,078,049
負債合計	9,674,110	10,035,007
（純資産の部）		
株主資本	8,511,530	8,804,571
資本金	2,220,082	2,220,082
資本剰余金	2,851,384	2,851,384
利益剰余金	3,643,964	3,937,543
自己株式	△203,900	△204,439
その他の包括利益累計額	115,267	116,484
その他有価証券評価差額金	115,990	115,445
繰延ヘッジ損益	△722	1,039
純資産合計	8,626,798	8,921,055
負債及び純資産合計	18,300,908	18,956,063

連結損益計算書（要約）

（単位：千円）

科目	前期（第53期） 平成22年11月21日から 平成23年11月20日まで	当期（第54期） 平成23年11月21日から 平成24年11月20日まで
売上高	40,938,554	42,858,747
売上原価	36,679,653	38,483,748
売上総利益	4,258,900	4,374,998
販売費及び一般管理費	3,708,326	3,765,748
営業利益	550,574	609,250
営業外収益	239,699	246,140
営業外費用	149,961	133,643
経常利益	640,313	721,748
特別利益	11,433	33,228
特別損失	4,346	50,408
税金等調整前当期純利益	647,400	704,568
法人税、住民税及び事業税	345,865	341,235
法人税等調整額	△14,698	△4,516
少数株主損益調整前当期純利益	316,233	367,848
当期純利益	316,233	367,848

POINT

●資産合計

現金預金10億66百万円の増加と受取手形及び売掛金3億18百万円ならびに有価証券1億円の減少等により、前期末比6億55百万円増加いたしました。

●負債合計

支払手形及び買掛金の増加等により、前期末比3億60百万円増加いたしました。

●純資産合計

利益剰余金の増加等により、前期末比2億94百万円増加いたしました。

●売上高

当社グループの主要マーケットである持家住宅ならびに分譲一戸建住宅の新設住宅着工戸数が堅調に推移したことや、エコ関連商材等の販売に努めたことにより、増収（前期比19億20百万円増加）となりました。

●営業利益

売上高の増加にともない、販売費及び一般管理費の増加がありましたが、売上総利益の増加により増益（前期比58百万円増加）となりました。

連結株主資本等変動計算書（要約） 当期（平成23年11月21日から平成24年11月20日まで）

（単位：千円）

	株主資本					その他の 包括利益累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	2,220,082	2,851,384	3,643,964	△203,900	8,511,530	115,267	8,626,798
当期変動額							
剰余金の配当			△74,269		△74,269		△74,269
当期純利益			367,848		367,848		367,848
自己株式の取得				△538	△538		△538
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						1,217	1,217
当期変動額合計	—	—	293,579	△538	293,040	1,217	294,257
当期末残高	2,220,082	2,851,384	3,937,543	△204,439	8,804,571	116,484	8,921,055

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）（単位：千円）

科目	前期（第53期） 平成22年11月21日から 平成23年11月20日まで	当期（第54期） 平成23年11月21日から 平成24年11月20日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	323,951	1,079,662
投資活動による キャッシュ・フロー	△331,490	61,434
財務活動による キャッシュ・フロー	△119,355	△74,267
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△126,894	1,066,830
現金及び現金同等物の 期首残高	4,695,359	4,568,464
現金及び現金同等物の 期末残高	4,568,464	5,635,294

POINT

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末より10億66百万円増加し、56億35百万円となりました。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、10億79百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益7億4千万円及び仕入債務の増加額4億63百万円ならびに売上債権の減少額3億1百万円の増加要因に対し、法人税等の支払額4億円の減少要因によるものです。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の増加は、61百万円となりました。これは主に有価証券の償還による収入2億円及び投資有価証券の売却による収入99百万円ならびに投資不動産の売却による収入51百万円の増加要因に対し、投資有価証券の取得による支出3億円の減少要因によるものです。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は、74百万円となりました。これは主に配当金73百万円の支払によるものです。

株式の状況 (平成24年11月20日現在)

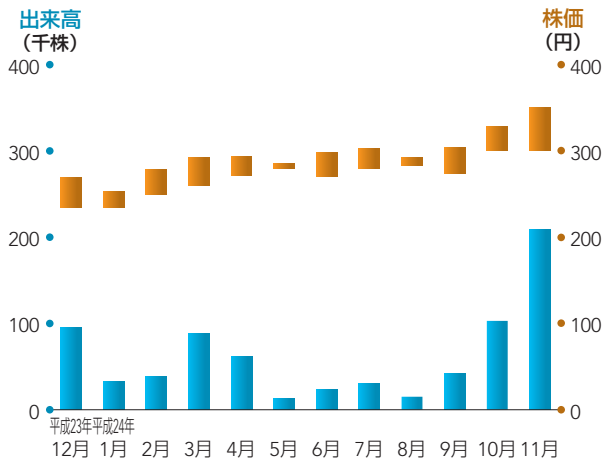
株式の状況

発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式の総数	10,011,841株
単元株式数	1,000株
株主数	1,344名

大株主の状況

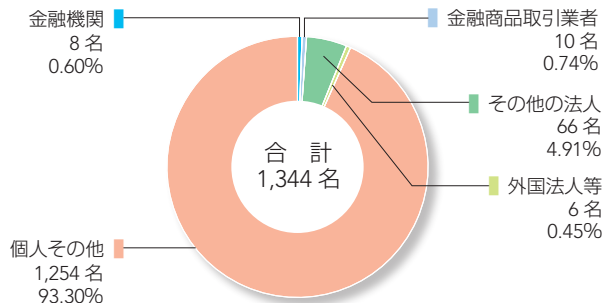
株主名	持株数
北村良一	1,239千株
北村三千子	1,215
有限会社 ケイアンドエム	1,073
北恵社員持株会	514
北村誠	443
北村裕三	306
竪智精	248
株式会社 りそな銀行	200
三菱UFJ信託銀行株式会社	188
日本生命保険相互会社	166

株価推移表

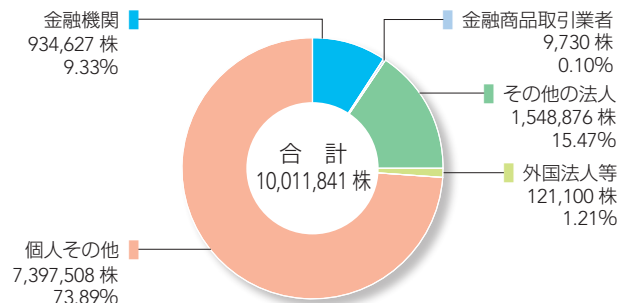


株式分布状況

●株主数構成比



●株式数構成比



株主様優待のお知らせ

毎年11月20日(期末時)に
単元株(1,000株)以上の
株式をご所有の株主様に、
下記の優待をご用意して
おります。

郵便局の
選べるギフト「鳥」

※3,000円相当の商品をカタログ
よりお選びいただけます。



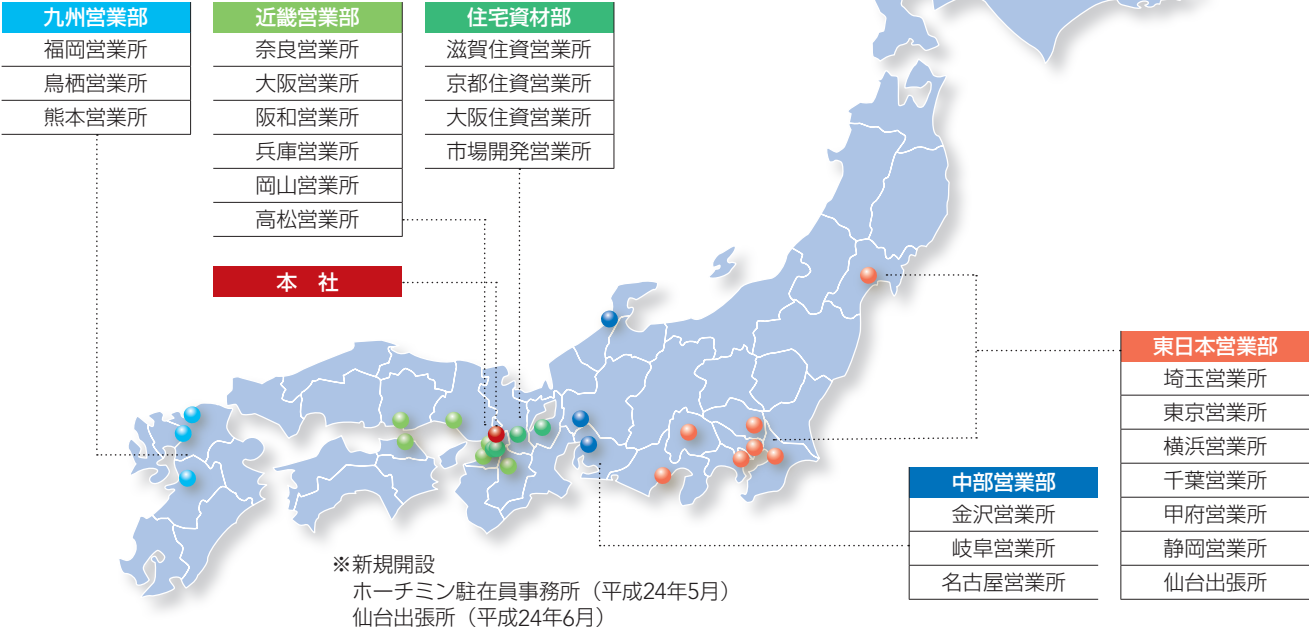
役員の状況

代表取締役社長	北村良一
専務取締役	堅智精
常務取締役	北村誠
取締役	内田治
取締役	竹内潔
取締役	北村裕三
取締役	岸本規正
取締役	山内昭彦
常勤監査役	坂本修
監査役	駒井隆生
監査役	酒谷佳弘

会社の概要

会社名	北恵株式会社 (KITAKEI CO.,LTD.)
設立	昭和34年12月22日
本店所在地	〒541-0054 大阪市中央区南本町三丁目6番14号 イトウビル
従業員数	298名(連結：平成24年11月20日現在)
主な事業	木材店、建材店、工務店、住宅会社等 に対する新建材・住宅設備機器等の商 品販売および施工付販売。

営業拠点



株主メモ

事業年度	11月21日～翌年11月20日
期末配当金受領 株主確定日	11月20日
中間配当金受領 株主確定日	5月20日
定時株主総会	毎年 2 月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目 6 番 3 号 Tel 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	大阪証券取引所
公告の方法	日本経済新聞に掲載する方法により行う

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インキを使用しております。